

シグマ委員会
2年度第3回運営委員会議事録(案)

日時 1990年10月26日(金) 13:30~17:30
場所 日本原子力研究所 本部 第3会議室
出席者 五十嵐(NEDAC)、北沢(東工大)、瑞慶覧(日立)、中嶋(法政大)、
吉田(東芝)、平岡(原研、金子代理)、菊池(原研)、長谷川(原研)
幹事 中島、中川(原研)
オブザーバー 松延(住友原工)、井頭(東工大)、岸田(CRC)、川合(東芝)、
前川(原研)

配布資料

1. シグマ特別専門委員会/シグマ研究委員会本委員会議事録
2. 2年度第2回運営委員会議事録(案)とアクションリスト
3. 諮問調整委員会議事概要
4. 核データ評価国際協力WG1990年度第1回会合議事録
5. IAEA中高エネルギー核データ助言グループ会合資料
6. INDC第18回会合資料(部分)
7. ESNIT用核データについて
8. NEAデータバンクの在り方について
9. 平成2年度会合開催数
10. JENDL-3の標準データ化(私案)
11. The Nuclear CD-ROM
12. 第2回核融合炉核データ専門家会議プログラム
13. 国内における今後の核データの実験活動および将来計画についてのアンケートの結果(中間結果)
14. 1990年核データ研究会準備状況

議事

I. 議事録確認

本委員会(7月13日)の議事録(配布資料1)と前回の運営委員会(6月22日)の議事録(配布資料2)を確認した。

II. 報告事項

II.1 諮問調整委員会報告

9月11日の諮問調整委員会の議事について配布資料3を菊池氏が説明した。また、国内の

実験に関するアンケート調査の中間結果（配布資料13）を松延氏が説明した。

アンケート結果はまとめて国内外へも配布することを考えてはどうかとの意見が出された。今回の運営委員会では、諮問調整委員会で配布された資料を紹介することとした。

II. 2 1990年核データ研究会について

井頭氏が配布資料14により11月29日、30日に開催する「核データ研究会」の準備状況と今後の予定を報告した。また蔡氏の来日に関する事務手続きが順調に進んでいることを菊池氏が報告した。

II. 3 第2回核融合炉核データ専門家会議について

前川氏が12月20日、21日に原研東海研で開催する「核融合炉核データ専門家会議」の準備状況を報告した。この会議はシグマ委員会と炉物理委員会の共催で行う。両委員会合同の幹事会でプログラム（配布資料12）を決定した。プロシーディングスは英文で年度内に作成する予定。参加者は50人程度。

II. 4 核データ評価国際協力ワーキンググループ会合報告

9月14日の「核データ評価国際協力WG」の議事録（配布資料4）により、各サブグループの作業進捗状況について菊池氏が報告した。また、12月初旬にNEAデータバンクでサブグループの合同会合があり、川合氏と菊池氏が出席する予定である。

II. 5 中高エネルギー核データに関するIAEA助言グループ会合報告

標記会合は10月9日～12日に、IAEA（ウィーン）で開かれ、日本からは中島、中原、深堀、柴田（現NEAデータバンク）の4氏が出席した。会議の様子を配布資料5により中島氏が報告した。会議では、「100 MeV 以下は数値データライブラリーを作成する必要がある、そのための実験データの編集作業が必要である」とのIAEAへの提言をまとめた。

II. 6 INDC第18回会合報告

10月15～19日にウィーンで開かれた標記会合の様子を配布資料6により中島氏が報告した。

主要議題は Nuclear Data Section の中期計画（1993～1998）の検討であり、データセンター活動、核融合核データ（FENDL）と関連する原子分子データ、デコミッショニングと放射能消滅に関する核データ、放射化に関するデータベース作成等を中心に活動を進めることを提言した。また、データセンターサポートに関する小委員会が緊急に開催され、CINDA、EXFOR等の基本的なデータベースを今後も継続して収集するための対策を協議した。

II. 7 ESNIT用核データについて

菊池氏が配布資料7によりESNIT（Energy Selective Neutron Irradiation Test Facility）関係の核データ整備に核データセンターが協力していることを報告した。必要なデータは50 MeV 以下の構造材、軽核のデータ（断面積、DDX、PKAスペクトル、DPA断面積、放射化断面積等）であり、その優先順位については核融合炉材料研究委員会より出して

もらってある。核データ整備の進め方を資料で説明した。ESNITプロジェクト及び核データセンターからの外注と核データセンターの独自評価とで進める。

II. 8 NEAデータバンクの将来計画について

鹿園原研東海研副所長他の原研有志で検討した「NEAデータバンクの在り方について」（配布資料8）を菊池氏が説明した。これは植松氏（NEA事務局長）の依頼でまとめ、植松氏が8月に来日の折に渡したものである。しかし、それ以降NEAからのレスポンスは無い。

III. 審議事項

III. 1 委員会旅費について

今年度のWG会合開催数および旅費使用状況を配布資料9により中川氏が報告した。9月末現在で、37回の会合を開き、約6割の旅費を使っている。今後の会合開催数については、すでに会合開催通知が出ている会合の他に、各WGとも1回を限度とすることとした。ただし、旅費を使わないグループについてはこの限りではない。また、年度末でさらに制限を加える可能性がある。

III. 2 原子力学会（核データ・炉物理）合同特別会合

来年の原子力学会年会での合同特別会合のテーマについて議論し次のようなテーマが提案された。

- 炉定数の標準化
- JEF/EFFワーキンググループ会合と核データ評価国際協力SG合同会合報告
- 諮問調整委アンケートのまとめ
- IAEA主催「Advisory Group Meeting on the Nuclear Data for the Neutron Multiplication in Fusion Reactor First Wall and Blanket Materials」（中国、成都）報告

この他のテーマの提案があれば、事務局まで連絡することとした。

III. 3 JENDL-3の標準データ化について

JENDL-3が完成したので、今後はデータの修正や、JENDL-3の普及のための作業が必要である。また更に、JENDL-3を日本国内の標準データとして位置づけをすることも必要であり、そのための作業体制案を菊池氏が配布資料10に示した。今回は、問題提起だけとする。

IV. その他

- 「原子力学会の指定テーマとしたいものがあったら連絡して欲しい」（北沢）
- 次回は12月18日（火）とする。オブザーバーは今回と同じく井頭、松延、飯島の各氏と東京在住のグループリーダーとする。

宿 題 事 項

No	内 容	担当	期限
1	原子力学会（核データ・炉物理）合同特別会合 のテーマの提案	全員	次回
2	原子力学会の指定テーマについての提案	全員	次回